

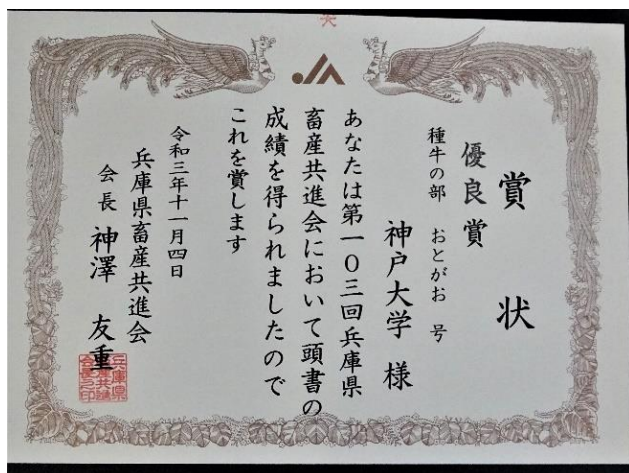
## 神戸大学（食資源教育研究センター）の牛が優良賞を受賞しました

11月4日（木）、養父市の子牛市場で開催された第103回兵庫県畜産共進会に神戸大学（食資源教育研究センター）の繁殖雌牛を出品し、「優良賞」を受賞しました。

出品した雌牛（名号「おとがお」）の血統は、父牛が「奥虎」、母方祖父牛が「照道土井」と、県下の但馬牛の中では少々変わり種ですが、但馬牛の遺伝的多様性の維持に貢献しようとする食資源センターらしい血統といえます。

「おとがお」は、本戦では上位の受賞牛にはおよびませんでした。が、10月1日（金）に行われた県の研究員による予選会では、体の幅、深みおよび背腰の平直さに加え、繁殖牛としての資質が高く評価され、他の出品牛と比べても遜色のない仕上がりでした。

「おとがお」にはこれからたくさんの子牛を産んでもらって、但馬牛の改良と「神戸大学ビーフ」の生産に貢献してもらいたいと期待が寄せられています。



賞状と記念品



予選会（左）と本戦の「おとがお」